

令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	国語表現（前）	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	国語表現 改訂版 （ 教育出版 ）					
学習の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
評価の観点	1 関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 2 話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 3 書く能力 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 4 知識・理解 言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。					
評価の方法	上記4つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	1	コミュニケーションのために	・ 日常的なコミュニケーションに必要な基礎知識を理解し、自らの表現に生かす。			
	2	文章表現の基礎	・ 表現能力の自己診断を行い、学習の意義や方法や技術を確認する。			
	3	小論文Ⅰ	・ 文章の「型」を各種のトレーニングを通して習得し、論理的文章を書くための基礎力を養う。			
	4	声の表現	・ 声を発する具体的な場面を想定した学習を通して、音声言語による表現方法の基礎を学ぶ。			
後期	5	人とつながる言葉	・ 言葉の性質や言葉と人間との関わりについて理解し、言語生活や具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする認識を養う。			
	6	面接——社会との接点	・ 実際の面接の場面を想定し、伝わる話し方について理解して、面接における心構えと技術を習得する。			
	7	言葉遊びと創作	・ 言語による表現の娯乐的・創作的な側面を理解し、関心を深める。			
	8	言葉を届ける	・ 相手や目的に応じて、正確で効果的な伝達や表現の方法を理解し、その技術を身に付ける。			